



日本共産党・前県会議員

2022年2月28日

# 加藤なを子活動レポート



## 県政へのかけ橋

<連絡先>藤沢市藤沢2-3-2

発行：日本共産党・加藤なを子事務所

TEL 0466-25-4776 FAX 25-4761

藤沢市民でよかった！と

思えるのはどんな時？



(藤沢市役所9階からみる街並み)

私は、地域を廻って、藤沢にお住いになっての要望や意見を伺っています。

「保育園や児童クラブに入れない！」「道路や歩道が狭い。」「ゴミ袋の値段が高い。」「全員で食べる中学給食がない。」「学校がプレハブ、トイレが臭い。」「横浜のような敬老パスがほしい。」など、たくさん寄せられます。

住みやすさの基準に、おしゃれな街で買い物が便利、交通網が整備されている、などが評価されますが、住みやすさは、それだけではありません。

大切なのはバリアフリー対策が進んでいること、高齢者、障がい者が安心して歩けるための生活道路の整備、そして子育て支援や高齢者、障がい者福祉の充実など、市民にとって困った時に助かる、あたたかい福祉制度が整っていることではないでしょうか。

市民の負担を軽くして、くらしの願いに応える姿勢が問われます。国や県は、各自治体を応援し、市は国や県いいなりの開発や企業の利益を優先するまちづくりはやめることです。

**くらしを応援する、市民の住みやすい街を一緒に実現しましょう！**

なを子の花だより

ノースポール

ノースポールは、マーガレットによく似ていますが、背が短く、花壇などで見かける小ぶりの花です。葉は野菜の春菊のようで、キク科で蕾が次々と咲き、株全体を覆うようになり雪のように見えるのでスノーポールと間違えそうですね。雪のデイジーとも呼ばれるとか。我が家のプランターの苗は、まだ蕾が多い状況です。花言葉は、「誠実」「高潔」「冬の足音」。



## 「ちびっこ幼児教室」の生活展に

毎年、善行団地のちびっこ幼児教室の生活展に、味村市議とおじゃましています。毎回ダイナミックな作品の展示や楽しい発想があり、子どもたちの才能に驚き、関心しています。



**幼児教室を幼稚園類似型と区別し、保育の無償化の対象からはずしています。**

皆さんの運動や国会での論戦もあり、国から補助金がわずかに出ることになりましたが、藤沢のように不交付団体（税収が多く、みずからの税収だけで財政運営できるとされた自治体）は、幼児教室への補助金の対象外とされています。幼児教室を他の幼稚園類似型と区別せず、すべての子どもたちに保育料の無償化を行うべきです。

藤沢市では、市独自の補助事業で幼児教室への保育料補助を保護者におこなっていますが、毎月の保育料はいったん負担し、年度末に書類を記入して申請、翌年の6月に振り込まれるしくみだそうです。保護者からはこの仕組みの改善が求められています。市の補助制度も今後継続されるかどうか、不確定な状況です。

藤沢の幼児教室は、これまで、多くの子どもたちを育て、大切な役割を果たしてきました。

**～幼児教室の運営が継続できるよう国や県、市に支援を求めています。～**



## 藤沢市柄沢にある「宮ノ下公園」で



柄沢特定土地区画整理事業地内にある近隣公園です。地下に雨水調整池が整備され、展望もよく、広々した気持ちのいい

公園です。遊びのエリアが分けてあり、青いハード舗装部分が金網で囲われ、スケートボードやボール遊びもできるようになっています。ところが公園に隣接する住宅の方から、「夜中にスケートボードで公園を利用する若い方たちがいて、騒音で眠れない。なんとかしてほしい。」と要望があり、また、「公園を利用する車が道路沿いに駐車したり、公園の前の道路を子どもたちが渡り、危険なので横断歩道を」という要望もありました。「階段を走って上がる子どもが、車と接触しそうになる、安全対策ができないか」という要望もありました。土屋市議と担当課に話したところ、みなさんの声が届き、夜の利用時間の制限、階段に「あぶない止まれ！」のシーが貼られました。

私は県に、横断歩道の設置や公園周辺への車の駐車対策についての要望を伝えました。

**これからも地域の要望をお寄せ下さい。**